

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 2

I 基本的なことがら

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
I-1 みどり豊かでゆとりある良好な住環境	I-1 計画地内部の緑化だけでなく、隣地や道路附近の法面も可能な限り緑化を行い、良好な住環境の維持に努めます。
I-2 多世代が定住でき、永く住み続けられ心の豊かさにもつながる、まちづくり	I-2 計画は高齢者向けの共同住宅ですが、入居者が心豊かに末永く生活できるようさまざまな空間を計画します。
I-3 ユニバーサルデザイン等の導入	I-3 計画地及び建物内はバリアフリーで計画します。
I-4 安心・安全の生活の確保	I-4 オートロックの採用や防災倉庫を設け安全・安心の生活の確保に努めます。
I-5 都市の熱環境への負荷の低減	I-5 省エネ基準を満たしたマンションとし熱環境負荷の低減に努めます。
I-6 地形を活かし、遠景や近景を眺めメリハリのあるまちづくり	I-6 道路から約 8.0m後退し道路からの圧迫感を軽減しています。(※機械式駐車場を除く)敷地の高低差を活かし西側、東側のゾーン毎にゾーニングを分け、計画します。
I-7 魅力ある場所をつくるデザイン	I-7 近隣公園の緑や周辺環境と調和する色彩、デザインとします。
I-8 美しく開放された空間づくり	I-8 建物東側にはラウンジ・レストランと一体化した中庭を作り開放された空間づくりに努めます。
I-9 地区計画や建築協定などの積極的活用	I-9 自治会・近隣住民の方々と協議を行い良好な住環境を計画します。

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 3

Ⅱ 技術的なことがら (計画の作り方と数値目標)

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
Ⅱー1 地形を活かし、魅力ある住宅地景観をつくることやまちなみの連続性への配慮	擁壁H＝ $\cdot L =$ m 法面H＝ $m \cdot L =$ m ²
Ⅱー2 高さ、容積率、建ぺい率について	最高高さ 22.06 m・容積率 149.47% 建ぺい率 37.99% 隣棟との間隔 m
Ⅱー3 近隣の建物の配置状況への配慮	計画地は低層住宅地と隣接していませんが、後退距離の確保を近隣の配慮としています。
Ⅱー4 周辺から見た都市景観への配慮	周辺へ圧迫感を与えないよう後退距離を確保しつつ、隣地際に中高木を植樹する計画です。
Ⅱー5 オープンスペースや緑化スペースと歩行者動線	庭園や歩行者動線を確保しつつ、道路から連続性のある空間になるよう効果的な植栽を計画します。
Ⅱー6 建物の外壁面の後退の指標	外壁面後退 道路から 8.0 m・隣地から 3.20 m ※西側機械式駐車場のみ道路4.5m・隣地1.0m
Ⅱー7 有効空地の指標	歩道設置（有）W＝0.95m・L＝25m 敷地内空地 62 %
Ⅱー8 敷地面積の規模の指標等	該当なし
Ⅱー9 防犯性の高い良質な住宅ストック	オートロック、防犯カメラを設置し防犯性を高めます。
Ⅱー10 景観デザイン	近隣公園との協調、落ち着いた街並みと調和する色彩、デザインとします。
Ⅱー11 まちの庭園化	北側の道路沿いに植栽を設け公園と一体化した計画とします。
Ⅱー12 工作物などの作り方	フェンスH＝2.0 m・L＝200 m 塀 H＝ $m \cdot L =$ m

*このチェックリストに書ききれない場合は、別紙に記入し添付してください